

## 視察報告会 ～デンマークの ” 最初の 1000 日 ” ～

2019 年 11 月 9 日（土） 13:30～16:00 @いかしの舎

報告者 | 引野里絵、赤木美子

2018 年、一般社団法人チカクは「0 歳児の発達支援に特化した地域拠点事業～ママぱれっと～」をはじめました。この事業実施にあたり、乳幼児の発達を促すなにかを探していた時に会ったのが、デンマーク・ボブルス社の赤ちゃんのための家具です。その後、いくつかの幸せな出会いがあって、2019 年 10 月、デンマーク、フィンランド、スウェーデンの各所を回りました。

課題を積み残したまま、あっという間に大きくなる子どもたちを前に、なにか役に立つ手段や新しいものの見方を家族に手渡すことができたなら…。そんな視点で、できるだけ具体的なアイデア、エピソードを今日ご紹介できればと思います。

今回の視察の実現にあたって、調整・協力して下さった多くみなさまに感謝申し上げます。


赤木 美子

今回の視察は、スカンジナビア・ジャパン 笹川財団さまより助成いただきました。

申請主題「すべてのあかちゃんが体を自由に動かすことの喜びを知り豊かな人生を送るために、運動発達支援の玩具・環境家具の開発が進んだ北欧の、乳幼児支援の最前線を視察、家庭で取り入れやすい発達支援環境を学び伝えること」に対し、申請者と他 1 名の渡航費の一部を助成。

今回の視察は、スカンジナビア・ジャパン笹川財団の助成で、デンマーク往復の2名分の渡航費の一部をいただき、乳幼児の発達支援について先進的な取り組みをしているボブルス社の二つのイベント「バーセルブレイク」「タンブリングタイム」に参加、また開発者・専門家へのインタビューを行いました。また、同社の手配で、先進的な取り組みを行う保育園/幼稚園の視察を行いました。

<p>1</p>		<p>視察 バーセルブレイク (ボブルス社主催、数社の共催)</p> <p>日時   10月9日(水) 11:00-12:00</p> <p>場所   Fields 内、Noedisk Film Biografer (映画館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 0歳児と親が230組参加する「育児休暇」という意味のイベント。こどもの心と体の発達に必要な考え方、運動の仕方を専門家が映像と実際にその場で子どもを扱いながら教える。</li> </ul>
<p>2</p>		<p>視察 タンブリングタイム (ボブルス社主催、玩具店共催)</p> <p>日時   10月10日(木) 10:30～11:30</p> <p>場所   Ønskeborn Rødrove (店舗)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 親子参加8組。ボブルス社のインストラクターが遊び方を教える。</li> </ul>
<p>3</p>		<p>視察 BLOMSTERHAVEN (保育園/幼稚園)</p> <p>日時   10月21日(月) 8:30～11:30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 園長先生から、コミュニケーション全体の保育園・幼稚園が取り組むレジヨ・エミリア・アプローチについて、具体的な事例・アイデアについて園内を案内していただく。</li> <li>■ この園には、0～3歳(保育園)、3～5歳(幼稚園)の子どもたち90名が通う。</li> </ul>
<p>4</p>		<p>面談 ボレッテさん (ボブルス社代表)</p> <p>日時   10月21日(月)10:00-12:00</p> <p>場所   ボブルス社 オフィス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自分のこどものために作った遊べる家具のアイデアをベースにボブルスを設立。ボブルスの考え方、タンブリングタイム・バーセルブレイクの日本での実施について。</li> </ul>
<p>5</p>		<p>研修 マリアンヌさん (ボブルス社 ネットワークコーディネーター)</p> <p>日時   10月22日(火)11時-12時30分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ボブルスの考え方に共感した小児の専門家をつなぎ「最初の1000日」のアイデアを作った。専用のアプリは会員は月齢にあった様々な情報を取得できるというもの。</li> </ul>

<p>¥ 6</p>		<p>研修 ボブルス社インストラクター          日時   10月22日(火)13時半～15時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ボブルスの家具の使い方。日本で発売されていないもの、家具として扱えるものなどもあり。色味については4年毎ぐらいに新しくしている。インストラクターになるには数日間にわたる研修が必要であり、この時は主に乳幼児向けの使い方を中心に聞いた。</li> </ul>
----------------	---	--

<フィンランド 10月12日～15日>

※全体の紹介

当初、10月後半で調整していたデンマーク・ボブルス社のイベントが10月初旬になったことにより、その間の日程でフィンランド、スウェーデンの2か国の事情を視察しました。視察を希望したのは、①0歳児の発達支援に関わる施設、②インクルーシブ保育・教育の考え方を視察できる施設で、実際にどのように保育しているか現場のアイデアを知るため、あえてネウボラははずしました。また、事前に質問内容を送りました。現地では施設の担当者以外に行政の担当者が同席しています。

<p>7</p>		<p>視察 保育園(ヘルシンキ市内)          日時   10月14日(月) 9:00-11:30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 特別支援の先生よりインクルーシブ保育のアイデアを聞く。その後、園長先生のインタビュー。秋休み期間ということで利用者が少なく、都心部の保育園の視察が可能となったが、めずらしいことだとのこと。</li> </ul>
<p>8</p>		<p>面談 マザーズ・イン・ビジネス          日時   10月14日(月) 13:00～14:30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ヘルシンキ音楽センター「Musikkitalo」のカフェにて。「日本とフィンランドにおいての子育て・仕事の両立」をテーマにしたフェイスブックイベント「ミングル」にマザーズインビジネスのメンバーを招待。</li> <li>■ お母さんたちが「やってみたい」「知りたい」をベースにした企業訪問など、産休、育休を子育て+自身のキャリアを磨く時間として、有効利用している印象</li> <li>■ ネウボラがあるので、子育てや子どもの発達のこと以外にも目が向けられる余裕があるのかな、という印象</li> <li>■ 会員数4000人、有給スタッフ3人。保育園のシステムが変わるときのモニターとして協力するなど、影響力も。育休中の会費を企業が負担する例もあったそう。</li> </ul>



<p>9</p>		<p>視察 Keltasirkku ケルタシルック</p> <p>日時   10月15日(火) 9:00~11:00</p> <p>■ 100年の歴史を持つマンネルヘイム児童福祉連盟 (MLL) の常設の支援拠点の一つ。広い部屋と誰でも自由に使えるオープンキッチンが特徴。MLL から保健師さんが来て歴史や実施しているプログラムなどを説明、その後、利用者も加わって歓談。ボランティア数全国で三万人。</p>
<p>10</p>		<p>見学 Oodi ヘルシンキ中央図書館</p> <p>日時   10月12日、13日</p> <p>■ 世界一の図書館と称される昨年できたばかりの新しい図書館。流線型の木質の床と天井が居心地の良い空間を作っている。左の写真は子どもたちの遊ぶスペースで、ボブスの家具が置いてあり、子どもたちが上手に遊んでいた。床の傾斜を客席としてトークショーなども。</p> 

<スウェーデン 10月17日~18日>

※全体の紹介

<p>11</p>		<p>視察 Rotebro Vårdcentral ローテブロ ファミリーセンター</p> <p>日時   10月17日(木) 12:50~14:15</p> <p>規模   1000- 1100の子どもが登録/年間</p> <p>■ 妊婦~5歳までの子を持つ家族が自由に利用できるファミリーセンター。ワンフロアに小児保健センター、オープンプレスクールなど三つの機能を持つ。</p>
<p>12</p>		<p>視察 Öppna förskolan オープンプレスクール</p> <p>日時   10月18日(水) 9:00~11:45</p> <p>■ スtockホルムから電車とバス乗り継いで20kmくらいにあるテービーという街の自然豊かな閑静な住宅街の中に立地。日本の地域子育て支援拠点(子育て支援センター)のようなところ。</p>

## 報告者について

- 引野里絵 リエチャイルドサポート代表、作業療法士 | <http://rieecs.net/aboutus/>
- 赤木美子 一般社団法人チカク代表理事、保育士 | <http://www.ekinotikaku.com/outline/1087>

## チカクについて

- チカクは、倉敷駅前にあった「倉敷チボリ公園」が閉園した 2008 年 12 月に、TIVOLI で行ってきた地域のための活動を残そうとしたチボリの女性スタッフが設立した非営利型の一般社団法人です。現在は、主に 0 - 3 歳の子どもたちとその親に対する以下のような「子育て支援」の事業を中心に行っています。
  - 地域子育て支援拠点「ちゃやっこひろば」 | 倉敷市の委託事業。0 - 3 歳児とその親が対象。無料で利用できる。保育士が 2 名いて、相談に応じたり子どもを遊ばせたりするところを見せている。平日の 10-15 時オープン（年間 240 日）。年間の利用数は延べ 5000 組。
  - ようちえんごっこ「プチぱれっと」 | 2 - 4 歳児を週に 1 回程度、3 時間預かるサービス。幼児 12 人に 4 名程度の保育士が担当。こどもの社会性を伸ばしたい親、育児不安のある親などが利用。月額 8000 円程度の会費で運営。現在合計 30 名の子どもを 3 カ所(10 人ずつ)で預かっている。
  - 0 歳児の発達支援に特化した地域拠点事業「ママぱれっと」 | WAM の助成を受け、2018 年 7 月から行っている事業。0 歳児のこころと身体と脳の発達について、専門職と子育て支援に関わるスタッフ、当事者である親子を中心にして、ともに学びあう場。気軽な相談の場として機能している。

## ママぱれっとについて

- ママぱれっと（0 歳児の発達支援に特化した地域拠点事業）は、2018 年 4 月に独立行政法人福祉医療機構（WAM）社会福祉振興助成 モデル事業として助成を受け、学童期以降の「生きづらさ」につながる「育ちにくさ・育てにくさ」の解消および軽減を目的に、3 歳児以下、特に 0 歳児の発達課題を丁寧にみる「親子の居場所づくり」や「支援者のスキルアップ研修」を行う事業として、スタートしました。
- 障がいのあるなしにかかわらず、はじめての赤ちゃんとの暮らしで余裕のないママたちに伴走し、勇気づけ、応援していくために、現場の支援者自身が 0 歳児の心と体の発達に「視点」が持てるよう、専門職と一緒にさまざまな側面からともに学び、親子に寄り添いながら生活圏でネットワークを形成するため、いくつかの事業を行っています。
- 過去の報告、現在企画中の内容は以下のリンク先からご確認いただけます。ぜひ、ご高覧いただき、ご意見いただくことができましたら幸いです。 <http://www.mamapalette.kokage.cc/aboutus/>